

# 令和6年9月定例会 一般質問通告内容

通告番号：1番 通告事項：1／1項目 議席番号：11番 議員名：小田 成実

質問事項：防犯灯などの町補助事業補助金交付手続きの簡素化を

防犯灯の設置については、設置予定の前年度12月に設置要望を出し、認められれば、防犯灯設置事業補助金交付申請書を「設置位置図」と「見積書」を添付して提出。その後防犯灯設置事業補助金交付決定通知書が送付され、その後設置工事を各自治会（地区）でおこなう。工事が完了すれば、工事費を自治会（地区）が支払い、防犯灯設置事業補助金実績報告書を「工事完了写真（着工前・完了後）」と「支出等を証明する書類の写し（領収書等）」を添付して提出。その後防犯灯設置事業補助金交付額決定通知書が送付され、自治会から防犯灯設置事業補助金交付請求書を提出し、やっと事業補助金が自治会（地区）の会計口座へ振り込まれる。

事務手続きが煩雑であり、自治会長（総代）の負担も大きいので、簡素化できないか以下の点を尋ねる。

- ① 紙面による事務のやりとりを簡素化し、自治会長（総代）の負担を軽減できないか。省略できるものはないか。
- ② 工事代金は自治会（地区）が支払いをおこない、その後、町から自治会へ振り込まれるが、町から直接工事業者への支払いはできないか。
- ③ 防犯灯はLED化が進められているが、町の補助事業として年次計画を立て、町全体をLED化する考えはないか。
- ④ 防犯灯以外の補助事業についても、事務の簡素化ができないか。

答 弁：町 長

通告番号：2番 通告事項：1/2項目 議席番号：9番 議員名：堀池 浩

質問事項：城山公園のトイレ改築について

城山公園には慰霊の塔があり、また広い公園内の天然芝ではウォーキングや散歩コースとして、新しくなった遊具は児童の遊び場として、多くの町民が活用している。

しかし、トイレの建物は古く、女子トイレは洋式化されているが男子用は旧式のままで使用しづらいとの声が上がっている。

そこで、以下のことを尋ねる。

- ① 城山公園のトイレは何年に建設され、耐震化となっているのか。
- ② トイレの改築の考えはないか。

答 弁：町 長

通告番号：2番 通告事項：2/2項目 議席番号：9番 議員名：堀池 浩

質問事項：带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

80歳までに3人に1人がかかるとされ、主に中高年が気を付けたい病気として、皮膚に痛みやかゆみを伴う発疹が帯状に現れる「带状疱疹」がある。

水痘（水ぼうそう）と同じウイルスが原因となり、50歳を境に発症率が急激に上昇し、発症すると後遺症が残る場合もあり、予防にはワクチン接種が有効である。厚生労働省専門委員会では6月に定期接種化への検討会が開始された。

そこで、以下のことを尋ねる。

- ① 定期接種には、AとBとあるがその違いは。
- ② 带状疱疹予防ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類あるが、その違いは。
- ③ 厚労省専門委員会での検討会の進捗を把握しているか。
- ④ 定期接種化前でも、接種費用の助成は検討できないか。

答 弁：町 長

質問事項：石木ダム建設について

今年8月2日に、県の公共事業評価監視委員会が開かれ、石木ダム建設事業について、事業継続、事業費420億円への増額及び事業完成時期を令和14年度とすることが承認された。

このことについて、大方の受け止め方は、もうこれ以上の事業の延長はありえない、県は、この間に必ず完成させる強い意思で臨むであろうという見方である。

そこで、次の点を聞く。

- ① ダムが建設される地元の町長として、川棚町としても、この期間に是非とも完成になるよう、最大限の力を尽くすという強い決意を持つべきではないか。
- ② 県知事に最大限動いてもらう必要があるので、知事を動かす効果的な方策を考えていくべきではないか。
- ③ いろいろ指摘はあっても、地元でダム建設を受け入れたことの責任は、良い結果も悪い結果も、すべて町長が責任を持つという考えで対応すべきではないか。
- ④ 地域振興策を早く公表し具体化して、町民により良い具体的なダムのイメージを持ってもらうようにすべきではないか。

答 弁：町 長

通告番号：4番 通告事項：1／3項目 議席番号：6番 議員名：辻 清人

質問事項：石木ダムについて

6月議会で「130か所以上ボウリング調査が行われて今もボウリング調査が行われている。県に対し地質調査の結果を開示して町民に対し説明を要求する考えはないか」尋ねた。町長の答弁は、「数が多いということで問題があるとは考えておりません。問題があると判断すれば、要求することも考えられますが、現在のところ問題があるとは考えておらず、調査結果を開示するよう要求する考えはありません。」と答えられた。

以下の3点を尋ねる。

- ① 問題があると判断するのはどんな内容なのか。  
県に対し地質調査結果の開示を要求することは、町民も町長も安心できるのではないか。
- ② 昭和54年6月に久保元県知事が住民に、地域振興対策について川棚町には負担を求めないという事を話されている。現県知事に対し、町長として確約をとる必要があるのではないか。
- ③ 石木ダム事業費が現行総額の1.5倍の420億円に増額し、完成時期も7年延長2032年度末完成と時期をこれまでに9回にわたって延長し、今回で10回目である。住民との話し合いも途切れたままであり、町長はどう考えているのか。

答弁：町長

通告番号：4番 通告事項：2／3項目 議席番号：6番 議員名：辻 清人

質問事項：保育料の無償化について

町長は公約に「子育て世代に対する多様な支援を行います。また、近隣市町に負けない川棚町にする」と掲げられている。

そこで、保育料の無償化について尋ねる。川棚町では0歳児は無償であり、3歳児から5歳児までは国の制度で無償になっている。1歳児から2歳児の保育料は有償になっている。子育て支援のためにも無償にできないか。

答弁：町長

通告番号：4番 通告事項：3／3項目 議席番号：6番 議員名：辻 清人

質問事項：地域防災について

川棚町には、ため池が55か所あり防災指定のため池が11か所、44か所が地域で管理されている。ため池は、農業のために必要であり、また防災上も重要な役割を持っている。

以下の2点を尋ねる。

- ① ため池の維持管理をどのようにされているのか。
- ② 防災指定のため池以外は、管理者が高齢でしかも後継者がいない。今後、ため池の補修や管理が難しくなるのではないかと考えるが、対策と方針は。

答弁：町長